

# 乳幼児 所在不明4176人

## 昨年度 健診受けず

### 虐待の懸念も

| 都道府県名 | 計    |
|-------|------|
| 北海道   | 82人  |
| 青森県   | 73   |
| 岩手県   | 9    |
| 宮城県   | 52   |
| 秋田県   | 0    |
| 山形県   | 0    |
| 福島県   | 9    |
| 茨城県   | 134  |
| 栃木県   | 5    |
| 群馬県   | 7    |
| 埼玉県   | 638  |
| 千葉県   | 583  |
| 東京都   | 752  |
| 神奈川県  | 96   |
| 新潟県   | 1    |
| 富山県   | 5    |
| 石川県   | 0    |
| 福井県   | 2    |
| 山梨県   | 66   |
| 長野県   | 49   |
| 岐阜県   | 101  |
| 静岡県   | 79   |
| 愛知県   | 453  |
| 三重県   | 121  |
| 滋賀県   | 48   |
| 京都府   | 31   |
| 大阪府   | 211  |
| 兵庫県   | 124  |
| 奈良県   | 28   |
| 和歌山県  | 27   |
| 徳島県   | 0    |
| 香川県   | 0    |
| 愛媛県   | 21   |
| 高知県   | 19   |
| 福岡県   | 31   |
| 佐賀県   | 0    |
| 熊本県   | 91   |
| 大分県   | 87   |
| 宮崎県   | 0    |
| 鹿児島県  | 36   |
| 沖縄県   | 0    |
| 計     | 4176 |

乳幼児健診 母子保健法に基づき、1歳6か月～2歳未満、3歳児を対象に、市区町村が義務として行う。ほとんどの自治体が1歳未満の乳児健診も実施している。2011年度の未受診者は、生後3～5か月児で約5万人（未受診率4.6%）、1歳6か月児で約6万人（同5.6%）、3歳児で約9万人（同8.1%）だった。

アンケート調査は今年11月へ全国1742市区町村を対象に実施。全自治体から回答を得た。その結果、1歳未満の乳児、1歳6か月児、3歳児の各健診を受けしていない乳幼児のうち、自治体の職員が家庭訪問するなどして所在確認できなかったのは、乳児で499人、1歳6か月児で142人、3歳児で2254人にとった。1歳半と3歳の未受診児は計約15万人で、その約2.5%にあたる。

自治体が2012年度に実施した乳幼児健診を受けず、所在が確認できない乳幼児が37都道府県の334市区町村で計4176人になることが読売新聞の調査でわかった。所在不明児の全国統計はなく、実態が明らかになるのは初めて。健診を受けていない子どもは虐待死事件が相次ぎ、国は昨秋、自治体に所在確認の徹底を求めたが、電話や手紙で済ませる自治体もあるなど、確認が不十分な実態が浮き彫りになった。

＜関連記事27面＞

### 本社 全自治体調査

東京都の一部の区や横浜市、大阪市などが人数を集計しておらず、実際はさらに多いと見られる。一方、全ての市町村が「ゼロ」と回答したのは、秋田、山形、石川、鳥取、島根、徳島、鹿児島、宮崎、沖縄の7県、ゼロと回答した市区町村の中には、保護者への電話連絡や受診を勧める手紙を送っただけで「確認を済ませた」として、いるところもあり、把握が不十分な可能性がある。

所在が分からない理由として、住民票を残したまま外国籍の子が帰国したり、家庭内暴力から逃れるために転居したりしたケースが想定されるが、居住実態がないため実際の理由はつかめていない。所在を確認する上での課題として、人員不足や個人情報保護を挙げ、自治体が目立った。健診を受けていない子どもは虐待死事件は近年、相次いでいる。乳幼児健診の未受診率は1歳未満だが、国が把握した11年度の虐待死58人のうち、未受診率は健診時の年齢別で43.25%と高く、厚生労働省の専門委員会は、未受診家庭について「虐待のリスクが高い」と指摘している。

都道府県別では、東京都の752人が最多で、埼玉（638人）、千葉（583人）、愛知（453人）と続いた。人口の多い

などして所在確認できなかったのは、乳児で499人、1歳6か月児で142人、3歳児で2254人にとった。1歳半と3歳の未受診児は計約15万人で、その約2.5%にあたる。

出典:読売新聞 2013年12月30日